



名称の類似している薬品に注意してください！！

名称が類似している医薬品の取り違えや、処方間違いでの事故の報告が全国で多発しています。

今一度、処方の際に**薬効**および**名称**の再確認をよろしくお願いします。

類似名称薬品一覧

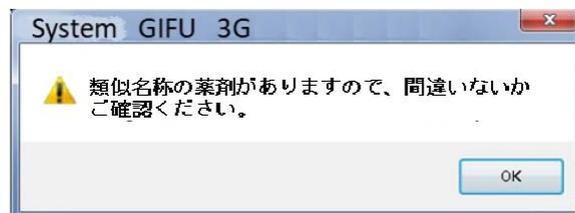
薬品名称	薬効	薬品名称	薬効
アスベリン	鎮咳剤	アスペノン	不整脈治療剤
ザイティガ	前立腺癌治療剤	ザルティア	排尿障害改善剤
セニラン	抗不安薬	セルシン	抗不安薬
ユリーフ	排尿障害改善薬	ユリノーム	抗尿酸血症薬
アレロック	抗アレルギー薬	アテレック	高血圧症治療薬
ノルバデックス	乳癌治療剤	ノルバスク	高血圧症治療薬
セロクエル	抗精神病薬	セロクラール	脳循環代謝改善薬
タケルダ	プロトンポンプインヒビター /抗凝固薬	タケキャブ	プロトンポンプインヒビター
ロイコン	白血球減少症治療薬	ロイコポリン	抗葉酸代謝拮抗薬

(直近1年間でPmdaより注意喚起が出た薬剤)

名称が類似している薬剤オーダー時には



名称類似に関連した医療事故防止対策の一環として、一部の医薬品には**オーダーする際に注意喚起のメッセージが表示されます。**



オーダー時の思い込みや打ち間違いでの処方間違いは薬効が異なる薬剤と取り違えると、患者への影響が大きくなる可能性があります。

新規薬剤の処方時には再度**薬効**および**名称**をご確認ください。

<他院での類似名称薬による取り違い事例>

★リフキシマ、リクシアナ

リフキシマ錠を処方された肝性脳症の患者に、誤って抗凝固剤のリクシアナ錠が調剤された。結果として、通常用量を超えたリクシアナ錠が複数回投与され、消化管出血が発現し、死亡に至った。

★ザイティガ、ザルティア

前医より前立腺癌疑いで受診。精査の結果、前立腺肥大症と診断され、前立腺肥大症の治療が継続された。治療開始約半年後、効果不足にてザルティア錠を追加処方するつもりで、ザイティガ錠を処方してしまった。処方 17日後に処方間違いに気づき、患者に連絡し服用中止。

★タケルダ、タケキャブ

患者はネキシウム20mgとバイアスピリン100mgを服用していたが、他院で内視鏡検査を受けた後、タケキャブ20mgを処方されネキシウムの中止指示が出た。指示を受けたドクターがネキシウム以外にバイアスピリンを中止したため、中止理由を薬剤師が確認したところ、タケキャブをタケルダ配合錠と勘違いし、タケルダ配合錠にはバイアスピリンが含まれているため中止したことが判明した。

★ロイコン、ロイコボリン

リウマチにて市立病院定期受診の患者。リウマトレックスと一緒にロイコボリン錠5mgを内服していた。今回から大学病院への転院となり、かかりつけ薬局へ処方箋を持参した。その際にロイコボリン錠の処方がなく代わりに、ロイコン錠10mgとなっていたため、名称間違いを疑い、疑義照会した。処方したドクターは病院の採用薬ではロイコボリン錠と入力できないため、似た名前の薬品で入力したとの返答であった。

日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部 ヒヤリ・ハット事例収集事業および、医薬品医療機器総合機構「製薬企業からの医薬品の安全使用に関するお知らせ」より抜粋

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

(文責：櫻井)